

自治体庁舎には、おとしよりや親子連れから外国人や民間企業、また多種多様な業務をおこなう職員まで、誰もが快適に過ごすために、機能的で効率的な環境づくりが求められています。

NECネットエスアイは、オフィス改革ソリューション「EmpoweredOffice」の自社実践や多くの企業様への実績を通じて培った“人を中心とした環境づくり”のノウハウで、住民サービスの向上や災害対策強化、地域産業の活性化の中核となる庁舎づくりをサポートします。

まちづくりの核となる、誰もが利用しやすく職員も働きやすい、
これからの庁舎づくりのお手伝いをします。

安心安全を支える防災拠点

災害発生時の迅速な対策本部立ち上げ、住民の安全確保やインフラ復旧に向けた継続的な情報収集と状況判断など、的確な指揮系統の構築が重要です。

<集める>

- 迅速に情報把握する映像システム
- 災害に強いネットワーク(衛星回線、防災無線など)

<決める>

- 情報を一元管理する防災情報システム
- 情報共有・判断・指示するテレビ会議システム

<知らせる>

- 住民・職員への一斉情報配信(ライブコミュニケーションサービス、安否確認システムなど)



わかりやすい住民サービス

利用に不慣れな来庁者や外国人にもわかりやすく案内し、誰もが迷わずに使える便利な住民サービスを支援します。

- 案内表示システム
- タブレットを活用したコンシェルジュ支援
- 多言語通訳サービス



柔軟で効率的な職員スペース

業務や組織変化にも柔軟に対応できるオープンな事務スペースを提供。職員間のコミュニケーションを円滑にし、業務効率と住民サービスの向上をサポートします。

- コラボレーションスペース
- モバイルツール
- ノーペーパー会議
- フリーアドレス



住民に開かれた議会

円滑な議会運営と情報公開を支えるため、映像・音声制御設備や情報公開配信機能などの構築・管理・運営をサポートします。

- 議会中継システム
- 議事録自動作成システム
- 議場の多目的運用(住民会議・上映会など)



交流と協働のサポート

イベント実施や自治体と企業の協働などで必要となる、多目的な環境づくりをお手伝いします。災害時には、災害対策室と一体化した運営もサポート可能です。

- Wi-Fiサービス
- テレビ会議システム
- デジタルサイネージ
- インタラクティブ案内システム



環境と安全に配慮したファシリティ

住民・職員が安心できる庁舎であるために、環境配慮型の設備や適切なフィジカルセキュリティ設備を構築します。

- 太陽光発電・蓄電池
- 消費電力の見える化
- ICカード(職員証)セキュリティ
- 監視カメラ



▶ 産業・観光情報コーナー 構築事例

▶ 東京都練馬区様

人・もの・情報を融合した情報空間により
30年先まで新鮮さを失わない産業・観光の情報拠点を創出

2014年4月、練馬区様は産業振興の拠点として、練馬駅北口区有地にオープンした複合施設「Coconeri(ココネリ)」内に練馬産業振興センター「産業・観光情報コーナー」を開設しました。この施設は、区内の産業・観光に関する情報を収集・展示・発信し、練馬区様の魅力を伝える役割を担っています。その目的を実現するため、従来型の情報発信ではなく、子どもからおとしよりまで誰もが楽しみ、30年先まで新鮮さを失わない、人・もの・情報を融合させた新しい情報空間をつくりました。



東京都練馬区

所在地 練馬区豊玉北六丁目12番1号
人口 714,144人(平成26年7月1日現在)
URL <http://www.city.nerima.tokyo.jp/index.html>

練馬産業振興センター「産業・観光情報コーナー」

所在地 東京都練馬区練馬1丁目17番1号(〒176-0001) Coconeri 3階 区民・産業プラザ内
URL <http://www.nerima-idc.or.jp/plaza/>
概要 練馬区立区民・産業プラザは、区内の産業振興、区民の文化活動と相互交流の促進、地域における公益的な活動の支援および協働の推進を図ることを目的とした施設です。

お問い合わせは、下記のNECネットエスアイへ

営業統括本部 マーケティング本部
電話 (03)6699-7021(ダイヤルイン) FAX (03)6699-7419
e-mail:info-mkt@dm.nesic.com
<http://www.nesic.co.jp>

●お問い合わせは下記へどうぞ

※記載されている会社名、サービス名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
※記載内容は、2014年9月現在のものです。予告なく変更する場合がございます。



練馬区様の産業・観光情報の収集・展示・発信の拠点となるのが、「産業・観光情報コーナー」です。区内の産業や観光の情報を集約し、その魅力を区内外の人々に伝え、経済活性化につなげることを目指しています。その立ち上げにあたり、掲げたコンセプトは次の3つでした。

練馬区様が掲げた「産業・観光情報コーナー」のコンセプト

- 30年先まで陳腐化することなく、何度訪れても新鮮さを失わないこと。
- 遊び心を取り入れた、「賑わいの場」にすること。
- 地域の産業振興に貢献すること。

コンセプトに基づいた産業・観光情報コーナーのポイント

POINT. 1 ▶ ICTを駆使した常に新しい情報の発信拠点

練馬区様では、「産業・観光情報コーナー」のコンセプトをふまえ、産業および観光資源の情報を区内外に向けて効果的に発信し、練馬区様の魅力を積極的にPRするため、デジタルサイネージやインタラクティブ体感マットなどのICTを活用しました。

その際に重視したのは、空間全体を陳腐化させず、常に新鮮さを保ち続けることでした。そのための重要な役割を果たしたもののひとつがデジタルサイネージです。これにより、時・季節に合った新しいコンテンツを流すことができるほか、サイネージに流す情報と展示販売コーナーの商品、さらに各種イベントを連動させた複合的なPR活動ができる環境を実現しました。



デジタルサイネージの特性を活かし、常に新しい情報を提供する。

POINT. 2 ▶ 子どもからおとしよりまで気軽に集まる賑わいの場

産業や観光の魅力を知ってもらうには、まずこの場所へ多くの人々に来てもらわなければなりません。どうすれば産業や観光に興味を持ってもらえるか、この場所に足を運んでもらえるか、練馬区様が考えたのは、「遊び心」をくすぐる「仕掛け」を用意することでした。

子どもが「コーナーに行ってお遊びしたい」といえば、一緒に両親や祖父母の方も、この場所を訪れることになり、必然的に産業・観光情報に触れることができます。

こうした発想に基づいて導入されたものに、「インタラクティブ体感マット」があります。これは天井のプロジェクターから床面に投影した映像が人の動きに反応し、画像と戯れることができるシステムです。これにより、オープン以降、コーナー内では常に子どもたちの歓声が絶えず、施設内に人を呼び込む「仕掛け」の役割を果たしています。



インタラクティブ体感マットで遊ぶ子どもたち。人を呼び込む仕掛けの一つ。

POINT. 3 ▶ 産業振興および区民交流の場となる「産業イベントコーナー」

練馬産業復興センターの特長は、従来型の行政施設にはない、飲食ならびに営利目的の利用を許可していることです。その狙いは、事業者様にとっての使いやすさを高め、自由なイベントを開催してもらうことにあります。このように練馬区様は、区内の産業を振興するために、身近でイベントを開催できる公共空間が欠かせないと考えていました。なぜなら、区内の事業者様の大半は中小規模であり、広報やマーケティングなどにリソースを割くことが難しい傾向にあるからです。この課題をカバーするため、練馬区様では施設内に新商品発表会や、プロモーション、企業

説明会、物品販売など、どんなイベントでも開催できる「産業イベントコーナー」を「産業・観光情報コーナー」に併設しました。ニーズ・利用用途に応じて自由にレイアウトを変えられ、映像や音楽を組み合わせたダイナミックな演出が可能になっています。



ねりま産連見本市で賑わう。産業イベントコーナー活用の一例。

導入いただいた、「産業・観光情報コーナー」「産業イベントコーナー」の内容

- 1 イベント・施設案内表示**
入り口わきに設置し、エスカレータからの来館者に施設の存在をアピール(アイキャッチ効果)
- 2 3面連携ディスプレイ**
入口から施設内へ来館者を誘導する映像システム。練馬区内の産業や歴史文化、伝統工芸などの映像等を放映
- 3 インタラクティブ体感マット**
誰もが楽しめる体感型の映像装置。床に投影された映像が人の動きに反応して変化



- 4 情報検索端末**
イベント案内、練馬の産業・観光の詳細な情報を検索可能に
- 5 大型サイネージ**
150インチの大型スクリーンによるダイナミックな映像演出を実現
- 6 フレキシブルな空間**
什器と間仕切りは自由に組み合わせられる移動式を採用、用途に合わせた多彩なレイアウト変更が可能に

お客様の声

区内の産業・観光情報の収集・展示・発信の中核拠点に

ICTの特性を活かして“30年先まで新鮮さを失わない情報空間”を実現できました。

常に人々が集う賑わいを創り出し、産業・観光の振興拠点とするには、いかにして情報発信していくかが重要なテーマでした。単純に写真や商品、情報を展示するだけでは、人を呼び込む力が弱いと考えたからです。この課題に対し、箱物をつくるのではなく、あくまでも施設を使う人や事業者の視点に立ち、ICTを活かして“いつまでも新鮮さを失わない情報空間”をつくるという提案は、まさに我々の求めていたものでした。

オープンから3カ月が経過した現在、来館者も物品の売り上げも着実に増加しています。また、事業者によるアニメのイベントを開催した際には収容人数を遥かに上回る応募が集まるなど、かつてない集客効果もあり、大いに手ごたえを感じています。現在は、魅力的なコンテンツが足りず、最新のICTを

備えたこの施設の機能を活かしていませんが、今後は、練馬の産業と観光の魅力をアピールできるコンテンツづくりに注力し、区民や地域の事業者様と一体になり、時・季節に合った常に新しい情報を発信していきたいと考えています。NECネットズエスアイには、今後のコンテンツ制作をはじめ、ICTを活用して区内他地域の観光案内施設と連動した情報発信を実現するなど、さまざまな取り組みについてもアドバイスや提案をもらえることを期待しています。



練馬区 区民生活事業本部
産業経済部 経済課長
米 芳久氏